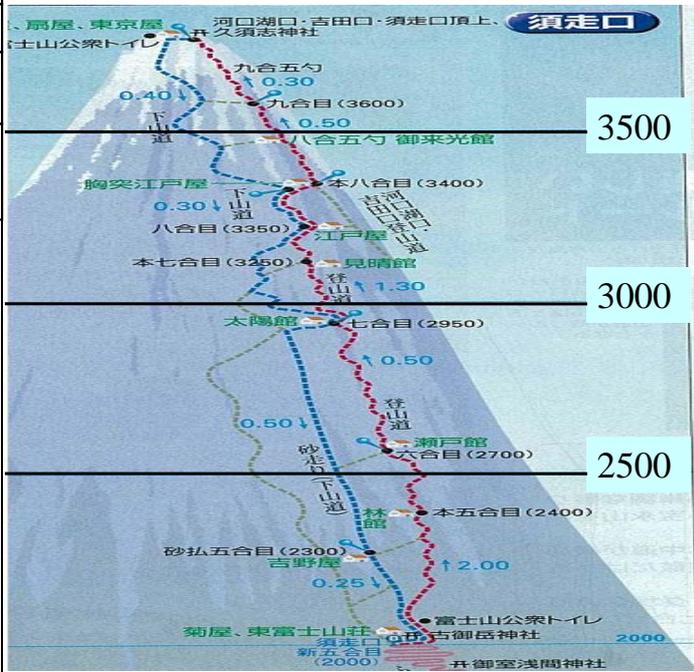


7月度個人山行報告書		報告者	金本武夫	参加メンバー	金本 武夫
		報告日	'06/8/10		
山域	富士	山行日	2006年7月29,30日		
山名	富士山				
山行目的	夜間登山と御来光	コースタイム(天候:天気図記号) 晴れ			

配布先	ルート				7月29,30日
集会:12					14:00 刈谷(自宅)発
山行:1					18:00 須走口駐車後仮眠
リーダー					20:00 起床、準備
原紙:集会担当者					20:30 須走登山口発
			23:00 7合目(太陽館)	03:00 8合目(江戸屋)	04:50 御来光(江戸屋) & 二度寝
			07:00 8合目(江戸屋)	09:00 山頂着	09:40 山頂発
			13:30 須走登山口着	15:30 富士川S.A	20:30 刈谷(自宅)着

4度目の富士であるが、初めての須走りコース。五合目駐車上で軽く夕食を済ませ仮眠をとる。起きると天気は曇りで駐車上はガス(濃霧)。いきなりやる気を無くす。登山口からしばらく樹林地帯が続き、1.5時間程度で本五合目の林館まで進む。ここで大雨に会い、更にテンションは急降下。ヤッケを着てしばらく様子を見るが止む気配も無いままに、周りの登山者も先に進み出したのでつられて進む。六合目で雨はぴたりと止み満点の星空とたくさんの流れ星、下界には雲の隙間から街の明かりを見ることが出来た。登ってよかったと幸せを感じ気持ちも上がるり、体力も回復。その後は頂上を目指し 坦々と歩き、八合目に近づくころ、ライトの電池が切れた。仕方が無いので月の明かりと八合目江戸屋さんの明かりを頼りにし、30分程度で江戸屋に到着。ここは富士吉田口からの合流地点で渋滞になっており登山客のライトで山頂に繋がる道が出来ていた。のんびり歩いたこともあり時間は03時になっておりスタートから5時間経過していた。江戸屋で仮眠をとるやいさなり、御来光の案内が聞こえ目を覚まし御来光を拝んだ。いつ見ても光と雲の刻々と変る様子がきれいである。6時半に2回目の起床、7時に山頂を目指して歩き出す。

9時に山頂に到着。土産屋をぐるっと見渡し、ベンチで休憩。
本コースの目玉である下山の砂走り。富士宮口の下山とはことなりさくさく足が進むのが楽しい。高山植物の観賞を楽しみ又、山肌が削れ断面が見えるところでは地層の状態を楽しみながら下山できた。

確認(リーダー)	
金本 武夫	
06/8/10	
作成(報告者)	(リーダー所見)今回は電池が切れるアクシデントに加え予備の電池を持参していないのが大きな失敗でした。(新しい電池が切れるとは思ってなかった。)消耗品は不足の事態に備えることを心がけてこれからも楽しみます。
金本武夫	
06/8/10	